強者達よ・・・この地に集へ

突擊取材

第二三回兵庫県消防操法大会ま

八月八日(日)に開催される

現地へ向かいました

『兵庫消防』編集事務局は各地区の精鋭達の奮闘ぶりを取材すべく

〕地区消防操法大会結果速報

第23回兵庫県消防操法大会への出場隊

兵

	平成 22 年 7 月 12 日現在
地区名	県大会への出場隊
地 区 名	ポンプ車の部 小型ポンプの部
神戸地区	神戸市北消防団A 出 場 な し
14 /- 16 62	神戸市北消防団 B
阪神地区	伊丹市消防団 尼崎市消防団
東播磨地区	加古川市消防団 稲美町消防団
中播磨地区	神河町消防団 福崎町消防団
北播磨地区	多可町消防団 多可町消防団
西播磨地区	たつの市消防団 たつの市消防団
但馬地区	養父市消防団 香美町消防団
丹波地区	丹波市消防団 篠山市消防団
淡路地区	(地区大会優勝隊) (地区大会優勝隊)

れました。 で、一ヶ月を切りました。 六月中旬~七月中旬にかけ

各地区の消防操法大会が実施さ 県大会への出場隊を決める

防団がほぼ出そろいました。県 大会へ出場される各消防団はこ これで、県大会へ出場する消

発揮され、全国大会への切符を れまでの訓練の成果を十二分に 勝ち取って頂きたいと思いま 皆さまのご健闘をお祈りしま

げられ、会場は熱気に包み込ま 選抜チームによる接戦が繰り広

いずれの地区大会も各市町の

れました。

発 行 所 財団法人兵庫県消防協会 1回なく 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号 編集発行人 岸 谷 義 雄 定価 1部44円 選字 井 戸 知 事

あ

消 した なたを守る かな 合言葉

第

|三回東播磨地区消防操法大会

ポンプ自動車三隊)が出場し、

熱戦が繰り広げられました。

今回の大会では、小型動力ポ

北分団野寺部が、消防ポンプ自 ンプの部では稲美町消防団母里

どの熱戦が繰り広げられまし

当日は曇り空を吹き飛ばすほ

出場隊は、小型動力ポンプの

法大会が開催されました。

いて第二三回中播磨地区消防操 に兵庫県広域防災センターにお

平成二二年六月二七日(日)

ム(小型動力ポンプ七隊、消防 法大会が開催されました。 いて第二三回東播磨地区消防操 に兵庫県広域防災センターにお んの応援が見守るなか、一〇チー 当日は友人、家族などたくさ 平成二二年六月二〇日(日)

結 果

小型動力ポンプの部

位 稲美町消防団 播磨町消防団 母里北分団野寺部

播磨町消防団

三位



消防ポンプ自動車の部 加古川市消防団 B チ ー ム

神河町消防団

三位 位 福崎町消防団 網干消防団 旭陽分団 新町分団

荘分団がそれぞれ優勝しました。 動車の部では加古川市消防団上 表彰式の様子

消防ポンプ自動車の部

越知分団



小型動力ポンプの部 神河町消防団

市川町消防団 作畑新田分団

三位

坂戸分団

結

優勝 二位

庄分団

小型動力ポンプ操法の様子

第 |三回中播磨地区消防操法大会

九隊、合計一四隊が鎬を削り 部五隊、消防ポンプ自動車の部 合った結果、小型動力ポンプの 消防ポンプ自動車の部では、神 部では、福崎町消防団庄分団が、

河町消防団越智分団がそれぞれ

結 果

結

果

小型動力ポンプの部

出場し、消防操法を披露しまし ンプ自動車の部ともに六隊ずつ

野第一分団がそれぞれ優勝しま

競技中に激しい雨が降り出し、

た。

可町消防団が二冠を制しまし

部ともに六隊ずつが出場し、多

ンプの部、消防ポンプ自動車の

当日はあいにくの曇り空で、

車の部では、たつの市消防団龍

第一○分団が、消防ポンプ自動

の部では、たつの市消防団龍野

接戦の結果、小型動力ポンプ

ンターにおいて第二三回北播磨 地区消防操法大会が開催されま

午前八時より兵庫県広域防災セ

平成二二年七月一一日(日)

が、それにも負けない気迫のあ

る操法が会場を沸かせました。

当日の出場隊は、小型動力ポ

た。また、競技途中に昨年度全

した。

り広げられました。

小型動力ポンプの部、消防ポ

太陽が照りつける中、熱戦が繰

前日の大雨とは一転、灼熱の

において、第二三回西播磨地区 磨科学公園都市「木戸口公園」

平成二二年七月四日 (日)、播

国女性消防操法大会に出場した

第

三回西播磨地区消防操法大会

消防操法大会が開催されました。

され、観客の声援を湧かせまし

よる軽可搬式ポンプ操法が披露

赤穂市女性消防団「サクラ」に

第

三回北播磨地区消防操法大会

優勝 小型動力ポンプの部 たつの市消防団

实粟市消防団 山崎支団第七分団 龍野第一〇分団

三位

消防ポンプ自動車の部

一位

位

小型動力ポンプ操法の様子

消防ポンプ自動車の部 たつの市消防団 赤穂市消防団 龍野第一分団

優勝

第四分団

位

優勝 三位 位

加西市消防団 多可町消防団 西脇市消防団



消防ポンプ車操法の様子

水

垂 須 長

博司 優和

磨 美

西播磨地区

多

町

丹波地区

丹 篠

市市

足 市

哲進 雄

波

加加小

可東西野

道男

中播磨地区

姫路

裕

宍赤た右東穂市市市市市

昌次

淡

南あわじ市 ホ

向 出 竹内 口口

旭 勝

淡路地区

(昭和32年10月5日第三種郵便物認可)

戸

田西塚

市 市

信昭 宏之 義雄

北播磨地区

勇

西

脇

市

 \equiv

木

市

君一

新香朝養温泉町市市

石原 淨慶 坂岡 藤井

古東

神

町

松本日出

東 石

政昭 康治

> 「消防団員の証」を無料で配布 された団員の方々一人ひとりに ただくものとして、新たに入団

正昭 健美

河崎川

大野

但出日竹城

高 野

山根 日生下愼一 西垣豪太郎

る家の玄関口等に掲示をしてい

東

灘 市

兵

庫 央

北

磨 田

演嵜

爲司

高

砂

和明 勝一

加古川市市

東播磨地区

猪名川

町市

中

灘

神戸地区

三川宝伊芦西尼

丹

屋 宮 崎

市

重男

梅田 久斗 栗林

善幸

譲二 忠道

尚

住民の方に消防団活動を理解し

高揚を図るとともに、広く一般

県協会では、消防団員の士気

ていただくため、消防団員のい

(平成二二年度七月一日現在

各地区の団長を御紹介しま

阪神地区

夢前町 家島町

> 一夫 壽朗

但馬地区

岡

市

上

郡

町

清美 芳夫

「消防団員の証」 お持ちですか?

太佐

庫

平成二

|年||度

消

防団長名

ビラ神戸において、平成二二年 されました。 度兵庫県まとい会理事会が開催 平成二二年六月一四日、舞子 りです。

第一号議案

第二号議案 入歳出決算について 平成二一年度事業報告及び歳

第三号議案 役員の改選について

平成二二年度事業計画及び歳 出歳入予算について

理事会の様子

改選が行われ、その結果、加西 き会長職を務められることにな 市支部の松本芳男さんが引き続 ◎監事 但馬地区

養父市支部

松山

丹波地区 丹波市支部

りました。

内田 政雄

修治

【兵庫県まとい会新役員】 北播磨地区

加西市支部 松本 芳男

阪神地区 神戸地区 神戸市支部 西 信

川辺郡支部

福田

富夫

理事会の主要議題は次のとお

東播磨地区 石井 清水

も多数おられることから、先般

中播磨地区 神崎郡支部 明石市支部 坂田 義明

西播磨地区 森川 展宏

組織概要

| 兵庫県まとい会

但馬地区 朝来市支部 たつの市支部 習田 晴夫

淡路地区 丹波地区 篠山市支部 酒井 好文

組織の充実・強化及び未組織地

により、各地域の既設自主防災

組織のリーダーを育成すること

県下全域に熟練した自主防災

南あわじ市支部 榎本 政實

おり本年度、まとい会の役員の

なお、第二号議案にもあると

害に強いまちづくりを推進する 域の組織化を図るとともに、災 ことを目的として昭和六一年に

幹部で組織されており、 消防団幹部OB及び現役消防 より

> 地域に密着した活動が可能とな 現在県下で、七〇〇名を超す

事業内容 (平成二一年度)

会員数を有しています。

①研修会の実施

事務局長(元兵庫県防災監 日本赤十字社兵庫県支部 東田 雅俊氏による講演

②防災啓発資料の作成・配布 ソーラーLEDライトの配布 安全安心な地域づくり

宮崎県における口蹄疫発生に伴う 消防団員被害者への支援につい

が生じています。被害を受けら 生により畜産農家に大きな被害 れている方々の中には消防団員 すでに皆さまもご承知のとお 宮崎県において、口蹄疫発

いて、 防協会の代議員会議の席上にお 五月二〇日に開催された日本消 お願いしたいとの発言がありま の消防団関係者に対して支援を 宮崎県消防協会から全国

六月二六日からの 大雨による被害

警戒体制をしきました。この間、 害警戒本部を設置し、全庁的な から警戒準備体制をとるととも に、同日一六時一五分より県災 により、県では、二六日の早朝 をもって閉鎖をする旨連絡が ることから、七月三〇日(金) 非常事態宣言の一部が七月一日 連絡がありました。 会から平成二二年五月一五日に おり開設された旨、日本消防協 に解除され、収束に向かってい この度、宮崎県消防協会より

兵 庫 県

各市町に対し水位情報等を提供

ジからご欄になることができま

会において義援金口座が次のと

あったことについて、

日本消防

て

このような中、宮崎県消防協

県協会事務

局

協会から情報提供がありまし

円(七月七日現在)余りにもな れています。 協会のホームページにも掲載さ 義援金の送金があり、八八〇万 なお、この情報は、日本消防 お蔭さまで、全国から多額の 報告とお礼がありました。

害はなかったものの、神河町で 各地で道路被害が発生しました。 するとともに、注意喚起を行い 二六mm、南あわじ市で二五mm (一時間の最高雨量)を記録し、 県下各地で人的被害、住家被 本情報は兵庫県のホームペー

六月二六日からの大雨の影響

県協会事務局

「消防団員の証」

・操法最適ホース : コンペVシリーズ

小型動力ポンプ: ラビットダイヤモンドフジシリーズ

問い合わせください

役場の消防団事務局までぜひお

まだ、お持ちでない方は市町

・消防ポンプ自動車(モリタ)

•消防用資機材全般

垣消防器具製作所 西

669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461

TEL:(079)672-3131 FAX:(079)672-3132

E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp



帆を上げて・・」ではじまる謡 れる、「たかさごやこの浦舟に 兵

消

消防団活動を振り返って」

消

防

団

昔

70

元出石町消防団長 浅田 展弘



ち会ってきました。

双光章を授かりました。 際し、消防功労によって、瑞寶 去る四月二九日の春の叙勲に

> 地域の安全と安心を願っての活 た、各位のご厚情の賜物に他な が、単に、在団中に頂戴しまし 動であり、望外の栄誉でした らず、衷心より深く感謝を申し 上げます。

年四月に、団員定数の六割を削 の近代化等を目指し、昭和四四 三九に及んでいましたが、装備 は、『昭和の合併』以前の機構 定数は千人を越え、分団数も が引き継がれていたため、団員 団した昭和四一年当時の消防団 振り返りますと、二六歳で入

減して、分団数を現在の一一と ど、団にとって大きな変革に立 する機構改革が行われました。

調面の問題もあり、『平成の合 の充実に取り組みました。体 設、及び夜間放水など訓練内容 を主務とする女性消防団の創 に就かせていただき、広報活動 団長の職には、平成五年四月

して進んだ消火栓の整備、昭和 て着手された上水道事業を期と 五九年一〇月の常備消防整備な これ以外にも、入団と前後し

わがまちの団長さん (168)

高砂市消防団長 作間 尚義

ライダル都市宣言を行いまし

メージに、昭和六三年七月にブ

の男女が夢をかたるまちをイ

地域防災のリーダー」

ります。 で組織され、各分団が一致団結 防団七分団六七五名の消防団員 し、団員の資質向上に努めてお 高砂市消防団は、現在、一消

害現場で活躍され、分団長、副 砂市消防団に入団し、様々な災 団長を経て平成二二年四月一日 に第六代目団長に就任されまし 作間団長は、昭和四九年に高

北は遠く中国山脈の支流を仰

南は瀬戸内海の播磨灘に臨

高砂市は県の南部に位置し

長です。 中にも厳しさを持ちあわせた団 やさしい団長ですが、団員の規 若手団員にも気軽に会話される 普段は、温厚で気さくな方で、 訓練には厳しく、穏やかな

ています。

結婚式やめでたいときに謡わ

て市民生活の大きな根源となっ 優れた景観、肥沃な土地となっ 南北に走り、その豊かな水利は み、市の東端を加古川の清流が

るため、消防団員対象の普通救 命講習会を開催し、 み込んだ専門的な知識を習得す 害対応のみならず、更に一歩踏 また、団長は、有事の際の災 団員に受講

祥地である高砂市では、これを 現代にうけつぎ、生涯のなかで

である「尉と姥」のいわれの発

「高砂」と平和と長寿の象徴

習に参加しておられます。

されることを願っています。 災のリーダーとして、市民の安 心・安全の確保のためにご活躍 これからも、地域の防火、防

させるだけでなく、自ら若手団 員の手本となるよう率先して講

> リットの方が大きいとの判断か の移行は、メリットよりもデメ ロメートル近いため、一団制へ 豊岡市は、市域が七〇〇平方キ 併』を期に退団しましたが、現

動を期待しています。 は、今後とも地域に密着した活 持したところであり、消防団に 合併時には多団制を強く支

自治会をはじめ地域の皆さんに

いることから、竣工式には地元

案内し、約三〇〇人の方が出席

して祝って下さいました。

式典終了後には車庫の見学や

地









地域 の防災拠点

第五分団車庫が完成

相生市

消

防 寸

親しみやすい防火イラストを描

生市の安全・安心に努め、地域

当市消防団は、これからも相

に密着した、愛され、信頼され

る消防人として、さらに邁進し

さんに披露することができまし 車庫を、出席していただいた皆 災拠点としての役割を担う分団 やうどんを振舞って、地域の防

て餅つきを行い、つきたての餅 団員と子どもたちが一緒になっ 消防車と記念撮影、さらには分

き、火災予防にも役立つよう特

に配慮しています。







日、「第五分団車庫竣工式」が つまれる中、平成二二年二月七 子どもたちの歓声と笑顔につ

編しました。 二二ヶ分団から一五ヶ分団に再 一月一日に機構改革を行い、 相生市消防団は、平成一六年

「第五分団車庫」が完成しまし 庫の新築が必要となり、消防団 車庫の整備を行い、平成二二年 施設整備計画に基づき、平成 一月四日に計画の最後となる 六年度から六カ年計画で分団 分団再編に伴い、四ヶ分団車

この分団車庫は、旧小学校運

動場の一部に敷地面積三三〇平 方メートルの鉄骨造、平屋建で、 方メートル、延べ面積 車から消防ポンプ自動車に更新 車庫・団員待機室にトイレ及び には配備車両も小型ポンプ積載 台所等を完備しており、今年度 する予定です 九〇平

密着した消防団」を理想として

また、当市消防団は「地域に

ていきます。

の防災拠点となります。 おり、有事の際にはまさに地域 兼用の耐震型貯水槽を整備して 車庫敷地内の地下には飲料水

庫のシャッターには子どもにも りで、幼稚園児や小・中学生の は商業施設が建ち並ぶメイン通 通学路にもなっているため、車 この分団車庫に隣接する道路



「いつか一人前の団員に ・・・」 で目を覚ました。同時に天井か 全壊し、近所でも原形を留めな 父親の車に逃げ込んだ。自宅は で寝間着のまま家を飛び出し、 ていた弟の無事を確認し、兄弟 に覚えている。すぐに二階で寝 布団を被ったことを今でも鮮明 ら蛍光灯が降ってきて反射的に

淡路市消防団ラッパ隊隊員

大植和

幸

淡路市消防団一宮地区

尾崎分団第一部団員

床に叩きつけられるような衝撃 ″ドーン″という音とともに、 成一三年四月、私は団員となっ そんな震災から六年後の平

た。

先輩団員だった叔父の勧め



淡路市消防団ラ

防団に感銘を受け、将来社会人

だった弟の世話をしてくれた消 震災当時高校生の私や、小学生

てきた。

て地域に何かお返しがしたいと になったら、いつかは団員とし

いう強い想いがあったからだ。

とはすごく自然な流れで、何の 私にとって消防団に入団するこ 違和感もなかった。というのも がきっかけで入団したのだが、

ど、さまざまな現場を経験させ 徹しての消火活動、二三号台風、 連日にわたる行方不明者捜索な 今年で団歴一〇年目。夜を





出来たての餅に長蛇の列

リーダー講座受講、防災士資格 害ボランティア、ひょうご防災 ていただくとともに、佐用町災 の取得などスキルアップに努め

助活動をされていた頼もしくも 員から熟練された技術、火災現 憧れの存在には遥か遠く及ばな は多く、あの時必死になって救 場での的確な判断など学ぶこと とは言え、まだまだ先輩団



台宗の修行道場の寺院で、康保 で山間を利用してつくられた天 占め、東西に一kmの細長い形 三七一メートル)の山上一帯を

三年(九六六年)性空上人によっ

山圓教寺を紹介したいと思いま

すが、その代表ともいえる書写

さて、我が消防団の区域内

数多くの文化遺産がありま

北西に位置する書写山(標高

えんぎょうじ)は、姫路市街の

書写山圓教寺(しょしゃざん

古刹・書写山圓教寺をたずねて

姫路市姫路西消防団

防災に取り組んでいます。 範囲にわたって、地域の防火・ な自然に恵まれた地域までの広 五四五名の団員で組織され、日 及び一六分団、梅元団長以下 に西部の区域において、団本部 姫路市の中心部から緑豊か でいます。 造された多くの堂塔が建ち並ん 敬が厚く、鎌倉・室町時代に建 代から天皇家や公家・武家の崇 ばれるほど寺格は高く、平安時

並び称された古刹であり、全国 ことがありません。 からの参詣者や観光客が絶える 大山とともに天台の三大道場と また、西国三三所観音霊場の 境内には、本堂にあたる「大

ております。さらに「護法堂」(二 之堂」(みつのどう)と呼ばれ 世の寺院景観を現在に伝えてお をするための「常行堂」の三棟 講堂」、修行僧の寝食のための り、これら三棟を総称して「三 「食堂(じきどう)」、常行三昧 「コ」の字に並ぶ一画は、中

の文化財として建っています。 の五棟を加えての八棟の国指定 性空坐像が国指定の文化財で 来坐像と鎌倉時代に彫刻された 仏像では、平安時代に彫刻され た釈迦三尊・四天王・阿弥陀如

のロケ地にもなり、 ドラマ「武蔵 MUSASHI」 年には、ハリウッド映画「ラ る「護法堂拝殿」など数多くの スト サムライ」とNHK大河 県・市指定の文化財があります。 別名弁慶の学問所と呼ばれてい 余談になりますが、平成一五 全国から注

本協会のホー

訓練等を行っています。 め、毎年、消防署との合同消防 素晴らしい文化遺産が区域内に 目を浴びました。 し、この貴重な文化財を守るた また、一二月三一日から一月 姫路西消防団は、このような

> 広く一般の方々に消防団をPR に、ページを作成することで、 六二ある県下の各消防団ごと

加による火気の不始末ならびに 一日の夜明けの間、参拝者の増

新・新設の依頼をしているとこ

通じて、各消防団のページの更

現在、各市町消防団事務局を

雑踏による災害を防ぐ為の警 備、さらに、一月一八日の鬼追 中心に実施しております。 的とした警備等を、地元分団を 要が行われる為、火災予防を目 い式においては松明を頼りに法

てまいります。 地域の安全・安心の確保に努め すとおり、郷土愛の精神のもと、 域で防ぐ 地域の災害)」の示 ローガンである「地防地災(地 今後も、当消防団の統

こんにちは「ひょうごの消防団」です ひょうごの消防団」 ハージの更新につい 県消防協会事務 _ თ

その他に京都の清水寺と同じ

を開設して以来、皆さまにも積 は、平成一三年にホームページ ところです。このページでは、 極的にご活用いただいている 「ひょうごの消防団」のページ れる消防団は事務PR記事を消 れている場合は、リンク先をお 示しください。) い。(団独自でページを開設さ 防協会事務局までご提供くださ ページの更新・新設を希望さ

ので、どうぞよろしくお願いし 供等は随時受け付けております 積極的に活用していただき、消 消防団におけるご意見、情報提 防団のPRに努めていただきま 今後とも、当ホームページを



堂(じきどう)

(昭和32年10月5日第三種郵便物認可)

皆さまいかがお過ごしでしょう さて、今月号では、各地区で 海、山の季節となりましたが

県大会への出場を決められた出 場各隊の皆さま、大会まで残り あとわずかですので、悔いの残 を吹き飛ばす、熱戦が期待され ださい。県大会当日に、暑い夏 らないよう練習に取り組んでく ま、大変お疲れ様でした。また、 行われている消防操法大会の取 夜遅くまで練習に励まれた皆さ 大会に向けて仕事を終えて

> 服 防 寸

種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽 甲 刺子・木綿 種

ハッピ・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンパイホース 兵庫県特約店

防 浦

番 4 6 姫路市竜野町 1 電話(姫路) 9 2 0792) 9 8 1 4 6 - 8 - 0 工目





消太くんをクリックしてください。

四神。

京道書。

「こんにちは!ひょうごの消防団です」ホームページ